

芝浦工業大学 交換留学プログラム 参加後アンケート

海外派遣プログラムに参加したみなさまに、海外での経験を今後の学生に共有していただくため下記アンケートの記載をお願いしています。
記載いただいた内容は、芝浦工業大学のWebサイトやパンフレットに掲載いただくことがありますので、その前提でご記入をお願いします。
「留学するかどうか、もしくは留学先をどこにするか等、判断を迷っている後輩向け」という視点で記入をお願いいたします。

留学者情報	
・ 学籍番号	BP●●●●●●
・ 氏名	R.S.
・ 学部	システム理工学部
・ 学科(コース等)	電子情報システム学科
・ 学年(渡航開始時)	3年
・ ウェブ等への体験談掲載への同意	<input type="checkbox"/> 氏名も掲載してよい <input checked="" type="checkbox"/> 学部・学科まで掲載してよい <input type="checkbox"/> 完全匿名での掲載を希望

留学先情報	
・ 渡航型/オンライン型	<input checked="" type="checkbox"/> 渡航型 <input type="checkbox"/> オンライン型
・ プログラムタイプ	<input checked="" type="checkbox"/> 授業履修型 <input checked="" type="checkbox"/> 研究室配属型
・ 国・地域名	スウェーデン
・ 都市名	ストックホルム
・ 留学先大学名	スウェーデン王立工科大学
・ 留学期間	<input type="checkbox"/> 3ヶ月未満 <input checked="" type="checkbox"/> 3ヶ月～半年(1セメスター程度) <input type="checkbox"/> 半年～1年(2セメスター程度)
・ プログラム期間	プログラム開始時期 (2021年9月上旬等) 2021年9月上旬 プログラム終了時期 (2021年9月上旬等) 2022年1月中旬
・ 留学時期 (主に留学をしていた時期にチェック をお願いします)	<input type="checkbox"/> 1年前期 <input type="checkbox"/> 修士1年前期 <input type="checkbox"/> 1年後期 <input type="checkbox"/> 修士1年後期 <input type="checkbox"/> 2年前期 <input type="checkbox"/> 修士2年前期 <input type="checkbox"/> 2年後期 <input type="checkbox"/> 修士2年後期 <input type="checkbox"/> 3年前期 <input type="checkbox"/> 博士以上 <input checked="" type="checkbox"/> 3年後期 <input type="checkbox"/> 4年前期 <input type="checkbox"/> 4年後期
・ 上記協定校を志願した理由を教えてください。	自分の専門における評価が世界的に高かった。 追加の授業料を払う必要がなかった。
・ (研究室配属型のみご回答ください) 受入大学の指導教員をどのように探 したか教えてください。 (SIT指導教員の紹介等)	

留学中の学籍について	
・ 休学の有無	<input type="checkbox"/> 休学をした <input checked="" type="checkbox"/> 休学しなかった
・ 休学せずに渡航した方は、休学せずに渡航できた理由を記載ください。 (留学が必須の学科だった、必修科目が渡航時期になく単位も十分に 取り終えており、かつ指導教員の許可も得られ、就活前に帰国することが できたため、等)	国際プログラムに所属しているため、留学が必須であり、必修科目が渡航時期に関係なく単位も十分に 取り終えており、かつ指導教員の許可も得られたから。

留学先での学習・研究状況

- 留学先での学習・研究状況につき、概要を記載してください。

基本的に勉強は家でできないので、カフェか大学の図書館でしていた。
忙しい週は平日毎日授業のない時間帯は図書館へ行き、週末は図書館が開いていないのでカフェへ行ったりしていた。

- 授業を履修した場合、具体的な科目の情報教えてください。(たくさん履修した場合は適宜追加して記載してください。また科目概要など、欄に収まらない場合は、適宜行の幅を大きくして記載してください。)

科目名①	Swedish Society, Culture and Industry in Historical Perspective	単位数 (現地単位数)	7.5
------	---	----------------	-----

科目概要	スウェーデンの文化、産業などについて歴史的観点から学ぶ。スウェーデンの歴史書からの一部や論文の一部などがPDFとして配布され、それらを読むことが求められ、時には実際にグループで博物館や美術館へ行き、実際に見て学んだことについてグループディスカッションで述べたりした。		
------	---	--	--

科目名②	Statistical Methods in Applied Computer Science	単位数 (現地単位数)	6
------	---	----------------	---

科目概要	機械学習における統計学について授業でLectureを受けて、課題ではPythonを使ってシミュレーションの実装やデータの可視化などをした。この科目は試験は実施されず課題の提出のみでの評価でした。		
------	---	--	--

科目名③	Networked Systems Security	単位数 (現地単位数)	7.5
------	----------------------------	----------------	-----

科目概要	インターネットにおけるセキュリティについての授業。ネットワークのさまざまな技術についてや、攻撃方法などについてLectureメインで学んだ。基本的には座学で、先生が攻撃のデモを実際に見せてくれることもあった。期末試験は所要時間が4時間もあり、かなりの量が出題された。全て記述式の試験。		
------	--	--	--

科目名④		単位数 (現地単位数)	
------	--	----------------	--

科目概要			
------	--	--	--

科目名⑤		単位数 (現地単位数)	
------	--	----------------	--

科目概要			
------	--	--	--

科目名⑥		単位数 (現地単位数)	
------	--	----------------	--

科目概要			
------	--	--	--

留学先での学習・研究以外の交流活動

- 交友関係、部活、サークル、日常生活などで特筆して後輩に伝えたいことを記載してください。

現地でできた他の留学生の友達と食事を開いたり、誕生日会をしたり、一緒に出かけたりした。

自由記述欄

- 留学で感じたこと等、自由に記載してください。
(当初の留学計画を達成していたか、新たな発見があったか、どのような苦労があったか、留学前に準備しておけばよかったと振り返って感じることはあるか、後輩へのアドバイス、等なんでも結構です。)

自分は入国に必要なResidence Permitがなかなか降りず、入国の日が他の人よりも遅れてしまったが、本来はArrival Dayという留学生在が手続きをしたり説明を受けたりする日が設けられているので、そこで結構友達ができるらしい。(後々友達に聞きました。)

スウェーデンについては留学前は結構街中でも英語が書いてあると想像していたが、いざ到着するとほとんど全てがスウェーデン語で書いてあり、特にスーパーで買い物する時が大変だった。ただ、スウェーデン人はほとんどの人が完璧に英語を話せるので、人に聞けば基本的に全て解決できる。

スウェーデンは物価がかなり高いので、学校へ行くときもランチボックスを自分で作ってもっていくのが普通でした。学校には大量の電子レンジがあり、お昼の時間にはみんな電子レンジを使うのに列に並びます。そのせいかこの留学で料理が上手くなった気がします。笑

留学手続き時に苦労した点

- 協定校への出願時に苦労した点や、後輩へのアドバイスがあれば記載ください。(提出すべき書類、準備が大変だった書類など)

なぜスウェーデンを選んだかやこの学校を選んだかの質問を聞かれた記憶があるので、事前に軽く考えておくのと良いと思う。

- ビザ申請など、渡航準備時に苦労した点や後輩へのアドバイスがあれば記載ください。(提出すべき書類、準備が大変だった書類など)
(渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。)

Residence Permitが想像よりも時間がかかったため、もっと前もって申請すべきだった。書類自体は1週間あれば用意できると思う。

- その他、準備にあたり、後輩にアドバイスがあれば自由に記載してください。

滞在先の宿泊施設などの情報 (渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。)

- 宿泊先のタイプを教えてください。(協定校の寮、一般のアパート、ホームステイ等)

協定校の寮、ホテル

- 上記宿泊先はどうやって手配しましたか？(出願時に協定校に依頼することができた、協定校から紹介してもらった、自分で探した、等)

出願時に協定校に依頼し、手配してくれた。

- 現地空港到着後、どうやって上記宿泊先に向かいましたか？交通手段や所要時間を教えてください。

まず学校へ向かい手続きをしてから、Metroで寮へ向かった。45分くらい。

- 上記宿泊先から日々協定校へはどうやって通学していましたか？交通手段や所要時間を教えてください。

ストックホルムの移動は基本的にMetroで移動。途中寮の移動もあったため、所要時間は異なるが、一番遠い時で45分程。

- 上記宿泊先の様子を教えてください。広さ、住み心地等。

最初の寮はシングルルームでキッチンや冷蔵庫など全てついているアパートの一部屋のような感じ。部屋自体はかなり広く快適だった。二つ目の寮はコリドールームで部屋自体はシングルルームでベッドや机、椅子などのみでキッチンはシェアキッチンで共有スペースにあった。自分の部屋は一人暮らしでは十分で特に不自由はなかった。キッチンがシェアだと他の留學生と交流できるため、それはそれで楽しかった。

留学中の費用や奨学金等（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）

概算で結構ですので、参考までに記入してください。

初期費用

内訳	金額(円換算概算)	概要
協定校へ支払った費用 (授業料、初期登録費用等あれば)	¥0	
往復航空券代(往復)	¥110,000	
海外旅行保険・危機管理費用 (全期間分)	¥73,000	
その他費用(ビザ申請、パスポート取得費等、英語試験受験料等)	¥20,000	ビザ申請
計	¥203,000	

1ヶ月あたり費用

内訳	月額金額	概要
宿泊費/月	¥60,000	
食費/月	¥35,000	基本的には自炊。外食するとかなり高くなります。
その他/月		
計	¥95,000	

奨学金情報

奨学金名	月額金額	概要
芝浦工業大学海外留学奨学金	¥80,000	
計	¥80,000	

写真共有のお願い（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）

留学中の様子が分かる写真を4枚ほど共有ください。またそれぞれの写真に説明分を加えて下さい。
写真はそのまま掲載しますので、掲載してもよい写真を貼り付けてください。

大学のシンボルとなる建物の写真等をお願いします



説明文

最寄駅から歩いて正面の建物です。
左がKTH Entreと言って手続きをしたり
グッズを購入したりするところで、
右はE buildingという
Electronic Engineering&Computer Scienceの学科の
建物です。

宿泊先の様子が分かる写真等をお願いします



説明文

コリドールームの自分の部屋の写真です。
最低限のベッド、机、椅子などは全て備え付けなので
基本的に新たに家具を買う必要はないです。

その他、任意の写真



説明文

コリドールームのシェアキッチンの写真です。
食器棚はそれぞれ専用の場所が用意されており
冷蔵庫や冷凍庫も場所が区切られており
それぞれの場所を使う感じです。

その他、任意の写真



説明文

KTHの図書館の写真です。
この図書館には勉強スペースがかなり用意されており
グループルームなどがあるため、基本的に学生が勉強するときは
図書館へ行って勉強しています。
雰囲気も良く、日本とは違った感じなので
とても好きな場所でした。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

芝浦工業大学 交換留学プログラム 参加後アンケート

海外派遣プログラムに参加したみなさまに、海外での経験を今後の学生に共有していただくため下記アンケートの記載をお願いしています。
記載いただいた内容は、芝浦工業大学のWebサイトやパンフレットに掲載いただくことがありますので、その前提でご記入をお願いします。
「留学するかどうか、もしくは留学先をどこにするか等、判断を迷っている後輩向け」という視点で記入をお願いいたします。

留学者情報	
・ 学籍番号	BN●●●●●●
・ 氏名	K.A.
・ 学部	システム理工学部
・ 学科(コース等)	生命科学科 生命医工学コース
・ 学年(渡航開始時)	3年
・ ウェブ等への体験談掲載への同意	<input type="checkbox"/> 氏名も掲載してよい <input checked="" type="checkbox"/> 学部・学科まで掲載してよい <input type="checkbox"/> 完全匿名での掲載を希望

留学先情報	
・ 渡航型/オンライン型	<input checked="" type="checkbox"/> 渡航型 <input type="checkbox"/> オンライン型
・ プログラムタイプ	<input checked="" type="checkbox"/> 授業履修型 <input type="checkbox"/> 研究室配属型
・ 国・地域名	スウェーデン
・ 都市名	ストックホルム
・ 留学先大学名	スウェーデン王立工科大学(KTH)
・ 留学期間	<input type="checkbox"/> 3ヶ月未満 <input checked="" type="checkbox"/> 3ヶ月～半年(1セメスター程度) <input type="checkbox"/> 半年～1年(2セメスター程度)
・ プログラム期間	プログラム開始時期 (2021年9月上旬等) 2021年8月下旬 プログラム終了時期 (2021年9月上旬等) 2022年1月中旬
・ 留学時期 (主に留学をしていた時期にチェック をお願いします)	<input type="checkbox"/> 1年前期 <input type="checkbox"/> 修士1年前期 <input type="checkbox"/> 1年後期 <input type="checkbox"/> 修士1年後期 <input type="checkbox"/> 2年前期 <input type="checkbox"/> 修士2年前期 <input type="checkbox"/> 2年後期 <input type="checkbox"/> 修士2年後期 <input type="checkbox"/> 3年前期 <input type="checkbox"/> 博士以上 <input checked="" type="checkbox"/> 3年後期 <input type="checkbox"/> 4年前期 <input type="checkbox"/> 4年後期
・ 上記協定校を志願した理由を教えてください。	北欧の生活に興味があったため 北欧の大学で自分の学科と同じような授業があるところを選びました。 留学生が多い大学なことも選んだ理由の1つです。
・ (研究室配属型のみご回答ください) 受入大学の指導教員をどのように探 したか教えてください。 (SIT指導教員の紹介等)	

留学中の学籍について	
・ 休学の有無	<input type="checkbox"/> 休学をした <input checked="" type="checkbox"/> 休学しなかった
・ 休学せずに渡航した方は、休学せずに渡航できた理由を記載ください。 (留学が必須の学科だった、必修科目が渡航時期になく単位も十分に取 り終えており、かつ指導教員の許可 も得られ、就活前に帰国することが できたため、等)	国際プログラムで留学が必須だったため。

留学先での学習・研究状況

- 留学先での学習・研究状況につき、概要を記載してください。

英語開講科目はほとんど大学院の授業で基本的に難しかったです。多くの授業はクォーター(セメスターの半分)制で、1コマが2時間でした。講義形式の授業もありますが、グループワークが多かったです。

- 授業を履修した場合、具体的な科目の情報教えてください。(たくさん履修した場合は適宜追加して記載してください。また科目概要など、欄に収まらない場合は、適宜行の幅を大きくして記載してください。)

科目名①	Swedish A1 for Engineers	単位数 (現地単位数) 5 (7.5)
科目概要	初級レベルのスウェーデン語の授業でした。本来は授業が始まる前の長期休暇期間に集中的に行われる授業でしたが、コロナの影響で授業期間にもオンラインで開催されていました。授業時間は1コマ/週で期間は1セメスターでした。授業中は講義、2~3人ずつでの会話練習、小テスト、授業外でクイズ、作文、スピーキングなどの課題がありました。教科書とワークブックの購入が必須で、配布資料もありました。	
科目名②	Medical Engineering, Basic Course	単位数 (現地単位数) 4 (6)
科目概要	医学基礎の教科書を解説する講義形式の授業でした。授業時間は大体2コマ/週で、1クォーターでした。授業は基本的には対面でしたが、規制が厳しかった時期はオンラインでした。成績は1回の期末試験の点数だけで決まりました。	
科目名③	Deep Learning Methods for Medical Image Analysis: a hands-on course	単位数 (現地単位数) 5 (7.5)
科目概要	医療用画像処理の授業でした。2コマ/週の講義と1コマ/週のペアワークがありました。成績はペアワークの課題とプレゼンで決まっていたと思います。授業は全てオンラインでした。	
科目名④	Applied programming for life science 3	単位数 (現地単位数) 1 (1.5)
科目概要	PythonとGitHubの演習の授業でした。成績は個人作業の課題提出だけで決まりました。	
科目名⑤	Technology in Surgery, Anaesthesia, and Intensive Care	単位数 (現地単位数) 6 (4)
科目概要	手術・麻酔・集中治療の技術についての授業でした。1クォーターで大体2コマ/週の講義またはグループワークでした。成績は4回的小テストとグループワークのレポート課題で決まりました。企業見学と病院見学がありました。	
科目名⑥	Artificial Intelligence within Biomedical Engineering and Health Systems	単位数 (現地単位数) 5 (7.5)
科目概要	医療用画像処理の授業でした。授業時間は2コマ/週で内容は授業ごとに用意されている課題とそれに関する意見交換でした。後半はグループワークで、プレゼンの課題がありました。成績は個人課題とグループワークのプレゼンで決まっていたと思います。授業は全てオンラインでした。	

留学先での学習・研究以外の交流活動

- 交友関係、部活、サークル、日常生活などで特筆して後輩に伝えたいことを記載してください。

部活やサークルには所属していませんでした。
ランゲージカフェという決まった言語だけを使って会話する機会が昼休みにあり、その場所に行けば誰でも参加できるため、現地の学生と交流することができました。

自由記述欄

- 留学で感じたこと等、自由に記載してください。
(当初の留学計画を達成していたか、新たな発見があったか、どのような苦労があったか、留学前に準備しておけばよかったと振り返って感じることはあるか、後輩へのアドバイス、等なんでも結構です。)

留学生がとても多く、授業でも寮でも様々な国の学生と交流する機会がありました。英語が第一言語ではない国ですが、どこに行っても当たり前のように英語が使えて、国籍に関係なく交流したり勉強したりできる環境に感動しました。私は英語が得意ではなく、読むことはできても日常会話も怪しいレベルの英語力でした。留学すれば英語ができるようになるだろうと軽く考えていて、実際留学したおかげで英語が多少使えるようにはなりましたが留学先の授業が大学院レベルの授業だったこともあり、その場で理解できず授業期間は予習と復習だけで1日が終わるような生活をしていました。留学前にもっと英語を勉強しておけばよかったと後悔しましたが、留学中に頑張ればなんとかなります。休日には観光・散歩をしたり、クリスマスからお正月の授業が無い期間には友人と旅行に行ったりと授業以外でも充実した日々を過ごせました。大変なこともたくさんありましたが、留学中は初めて経験することや新たにできるようになることがたくさんあり、自分で実感するほど成長できました。

留学手続き時に苦労した点

- 協定校への出願時に苦労した点や、後輩へのアドバイスがあれば記載ください。(提出すべき書類、準備が大変だった書類など)
受ける授業を選ぶのが難しかったです。先輩に聞いてみるとやりやすいと思います。最悪渡航してから協定校の担当者の方にメールすれば変更できます。
- ビザ申請など、渡航準備時に苦労した点や後輩へのアドバイスがあれば記載ください。(提出すべき書類、準備が大変だった書類など)
(渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。)
コロナの影響で留学に行くかどうかを決めたのが遅かったため、居住許可の申請がギリギリになってしまいました。居住許可は時間がかかるので、留学が決まったら早めに申請するべきです。
- その他、準備にあたり、後輩にアドバイスがあれば自由に記載してください。
準備は何でも早めにやった方が良いです。

滞在先の宿泊施設などの情報 (渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。)

- 宿泊先のタイプを教えてください。(協定校の寮、一般のアパート、ホームステイ等)
協定校の寮、ホテル等。
当初は協定校が提供する寮に全期間滞在する予定でしたが、途中で問題が発生したため、協定校の近くの大学の寮やホテルに引っ越しました。
- 上記宿泊先はどうやって手配しましたか？(出願時に協定校に依頼することができた、協定校から紹介してもらった、自分で探した、等)
出願時に協定校に依頼することができました。引っ越し先も協定校に提供してもらえました。
- 現地空港到着後、どうやって上記宿泊先に向かいましたか？
交通手段や所要時間を教えてください。
大学が定めた到着日に到着したため、空港からメインキャンパスまで大学が提供する無料バスを利用しました。到着した留学生の人数に対してバスの本数が少なく、空港で1時間半ほど待ち時間がありました。メインキャンパスから宿泊先までは地下鉄で移動しました。
- 上記宿泊先から日々協定校へはどうやって通学していましたか？交通手段や所要時間を教えてください。
最初の寮からは地下鉄で40分程度でした。
- 上記宿泊先の様子を教えてください。広さ、住み心地等。
協定校に提供された寮は、洗濯のみ共用で、キッチン・トイレ・シャワーは部屋にありました。家具は机、椅子、ベッドが備え付けられていて、電気やキッチン用品などは前に住んでいた人が使っていたものが残されていました。ランドリーの真上の部屋だったため、洗濯機の振動が気になりましたが、それを除けば住みやすい家でした。

留学中の費用や奨学金等（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）

概算で結構ですので、参考までに記入してください。

初期費用

内訳	金額(円換算概算)	概要
協定校へ支払った費用 (授業料、初期登録費用等あれば)	¥0	
往復航空券代(往復)	¥200,000	
海外旅行保険・危機管理費用 (全期間分)	¥73,000	
その他費用(ビザ申請、パスポート取得費等、英語試験受験料等)	¥50,000	ビザ申請は無料でしたが、銀行で残高証明を取得する必要がありました。パスポートは持っていました。英語試験は必要ありませんでした。コロナの陰性証明に渡航前・帰国前合わせて50,000円程度かかりました。
計	¥323,000	

1ヶ月あたり費用

内訳	月額金額	概要
宿泊費/月	¥41,000	引っ越しがなければ、約60,000円/月でした。
食費/月	¥26,000	外食をしなればもっと安くできます。
その他/月	¥46,000	交通費8,000円/月、通信費600円/月 教科書代、日用品、服飾、交際費、観光・旅行費等
計	¥113,000	

奨学金情報

奨学金名	月額金額	概要
芝浦工業大学海外留学奨学金	¥80,000	
計	¥80,000	

写真共有のお願い（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）

留学中の様子が分かる写真を4枚ほど共有ください。またそれぞれの写真に説明分を加えて下さい。
写真はそのまま掲載しますので、掲載してもよい写真を貼り付けてください。

大学のシンボルとなる建物の写真等をお願いします



説明文

メインキャンパスの入り口

宿泊先の様子が分かる写真等をお願いします



説明文

寮の外観と内装

その他、任意の写真



説明文

ストックホルム中央駅

その他、任意の写真



説明文

ストックホルムの街並み
ストックホルムの冬はくもりか雪の日が多かったです。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

芝浦工業大学 交換留学プログラム 参加後アンケート

海外派遣プログラムに参加したみなさまに、海外での経験を今後の学生に共有していただくため下記アンケートの記載をお願いしています。
記載いただいた内容は、芝浦工業大学のWebサイトやパンフレットに掲載いただくことがありますので、その前提でご記入をお願いします。
「留学するかどうか、もしくは留学先をどこにするか等、判断を迷っている後輩向け」という視点で記入をお願いいたします。

留学者情報	
・ 学籍番号	BN●●●●●●
・ 氏名	K.Y.
・ 学部	システム理工学部
・ 学科(コース等)	生命科学科 生命工医学コース 国際プログラム
・ 学年(渡航開始時)	3年
・ ウェブ等への体験談掲載への同意	<input type="checkbox"/> 氏名も掲載してよい <input checked="" type="checkbox"/> 学部・学科まで掲載してよい <input type="checkbox"/> 完全匿名での掲載を希望

留学先情報	
・ 渡航型/オンライン型	<input checked="" type="checkbox"/> 渡航型 <input type="checkbox"/> オンライン型
・ プログラムタイプ	<input checked="" type="checkbox"/> 授業履修型 <input type="checkbox"/> 研究室配属型
・ 国・地域名	スウェーデン
・ 都市名	ストックホルム
・ 留学先大学名	王立工科大学(KTH)
・ 留学期間	<input type="checkbox"/> 3ヶ月未満 <input checked="" type="checkbox"/> 3ヶ月～半年(1セメスター程度) <input type="checkbox"/> 半年～1年(2セメスター程度)
・ プログラム期間	プログラム開始時期 (2021年9月上旬等) 2021年8月下旬 プログラム終了時期 (2021年9月上旬等) 2022年1月中旬
・ 留学時期 (主に留学をしていた時期にチェック をお願いします)	<input type="checkbox"/> 1年前期 <input type="checkbox"/> 修士1年前期 <input type="checkbox"/> 1年後期 <input type="checkbox"/> 修士1年後期 <input type="checkbox"/> 2年前期 <input type="checkbox"/> 修士2年前期 <input type="checkbox"/> 2年後期 <input type="checkbox"/> 修士2年後期 <input type="checkbox"/> 3年前期 <input type="checkbox"/> 博士以上 <input checked="" type="checkbox"/> 3年後期 <input type="checkbox"/> 4年前期 <input type="checkbox"/> 4年後期
・ 上記協定校を志願した理由を教えてください。	・トップレベルの大学で専門の最先端を学んでみたかったため。 ・スウェーデンなど北欧では医療福祉が充実しており、医療工学も進んでいそうだったため。 ・ヨーロッパや北欧への文化的な憧れがあり、比較的治安の良いイメージがあったため。 ・同じコースの先輩が留学したことがあり、現地語ができなくても英語で生活しやすそうだったため。 以上の理由などから協定校リストから医療工学を学べそうな大学を探し、 一つ一つ開講リストを見て候補を挙げて希望届を提出しました。 国際プログラム担当の教授に相談しつつ、第三希望まで提出しましたが、第一希望が通りました。
・ (研究室配属型のみご回答ください) 受入大学の指導教員をどのように探したか教えてください。 (SIT指導教員の紹介等)	

留学中の学籍について	
・ 休学の有無	<input type="checkbox"/> 休学をした <input checked="" type="checkbox"/> 休学しなかった
・ 休学せずに渡航した方は、休学せずに渡航できた理由を記載ください。 (留学が必須の学科だった、必修科目が渡航時期になく単位も十分に取得できており、かつ指導教員の許可も得られ、就活前に帰国することができたため、等)	システム理工学部の国際プログラムに所属しており、 休学不要の留学で単位取得が必須だったため。

留学先での学習・研究状況

- 留学先での学習・研究状況につき、概要を記載してください。

医療工学分野の学部生向け講義はスウェーデン語でしか開講されておらず、英語で受講するために、修士課程やPhDの学生に混ざって、大学院の講義を履修していました。学部課程が3年間の国もあるため、交換留学生以外にも同い年の学生はいましたが、リカレント教育も含めた幅広い年齢の学生と一緒に受講しました。芝浦から同じ分野も含めて複数人が同じ協定校へ留学していましたが、授業が重なったり同じグループを組んだりしないと、出会う機会は少なかったです。授業もテストも課題も、日本のものに比べてレベルが非常に高く難しいものの、やる気のある学生には質問対応や補修課題など優しかったです。学期はクォーター制で8月に新しい年度が始まり1週間弱のテスト期間兼秋休みを1ピリオド目と2ピリオド目の間に挟みます。2ピリオド目は期末テストや最終プレゼンテーションを新年に残し、クリスマス休暇前に多くの授業は終わります。単位のECTSは日本の1.5倍大きく出ます。

- 授業を履修した場合、具体的な科目の情報教えてください。（たくさん履修した場合は適宜追加して記載してください。また科目概要など、欄に収まらない場合は、適宜行の幅を大きくして記載してください。）

科目名①	Artificial Intelligence within Biomedical Engineering and Health Systems	単位数 (現地単位数) 5 (7.5)
科目概要	人工知能 (AI) について、医療分野の課題、要求、将来の仕事、ビジネスチャンスのさまざまな側面に関する理論的および実践的な知識を得ることができます。様々な背景をもつAIに関わる専門家による講義動画を視聴し、与えられたテーマに沿って自分の意見を課題として毎週提出しました。週2回あるセミナーで、は、その意見をもとにZoomのブレイクアウトセッションでディスカッションを行い、まとめた意見を全体で交換しました。最終課題として、4~5人のグループでProject Based Learningを行い、プレゼンテーションをしました。成績は可または不可のみです。	
科目名②	Deep Learning Methods for Medical Image Analysis: a hands-on course	単位数 (現地単位数) 5 (7.5)
科目概要	医用画像への深層学習の応用について、オンラインで講義とラボを受講しました。講義では、数学も交えた理論などの背景や発展の流れ、深層学習の基礎を幅広く学びました。ラボでは、各自で組んだペアごとにサーバーが割り当てられ、PythonやTensorflowを活用して、与えられたデータセットから課題を解決し、レポートとコードを提出してAからFで成績評価されました。最後のプロジェクトでは、一般に公開されているチャレンジに講義やラボの知識と技術を活用してペアで臨み、その結果をレポートとプレゼンテーションで報告し、その評価も成績に反映されました。	
科目名③	Implants and Biomaterials	単位数 (現地単位数) 4 (6)
科目概要	主担当の教授がインプラントと呼ばれる体内に移植される機器について、もう1人の先生が生体材料について、授業で教えてくださいました。他には、近くのカロリンスカ大学病院からゲスト講師を招きつつ、授業内容の定着を問うクイズと最終筆記試験がありました。筆記試験には記述問題と計算問題があり、制限時間は4時間でした。成績は、セミナーと呼ばれる2人ペアで取り組むプレゼンテーションの可否、3つのテーマから1つ選択して論述するレポートの可否、クイズの可否、筆記試験の正答率で決まります。成績はAからFまでで、E以上が合格で単位取得です。	
科目名④	Technology in Surgery, Anaesthesia, and Intensive Care	単位数 (現地単位数) 4 (6)
科目概要	講義期間の前半では手術、麻酔、集中治療の現場にも携わる専門家が先生として講義してください、毎回の授業前に前回の内容を問う記述試験がありました。その試験は、問題の候補が事前に3~4つ明らかにされており、各自で答案を用意し、参照不可A4の白紙1枚に、試験開始後に明らかになる問題1つを記述するもので、各回3点満点でした。講義後半は、修士論文の前哨戦のようなアカデミックレポートに2~3人の各自で組んだチームで取り組みました。テーマは講義内容に関連した新しい解決策の提案で、そのレポートとテストでAからFで成績評価されます。	
科目名⑤		単位数 (現地単位数)
科目概要		
科目名⑥		単位数 (現地単位数)
科目概要		

留学先での学習・研究以外の交流活動

- 交友関係、部活、サークル、日常生活などで特筆して後輩に伝えたいことを記載してください。

公式Arrival Day後に授業が始まるまでの間、学生団体による歓迎イベントやバディー活動があります。人数制限もあるため早めに申し込み、積極的に参加して友人を作った方が良いと思います。後々、授業のグループをスムーズに組めたり、情報交換をできたりする関係になるので便利です。その歓迎イベント後に学生イベントに参加するためには、会費を払ってチャプターというものに入る必要があります。スウェーデンは学生に優しい街で割引も沢山あるので、到着後早めにMecenatというデジタル学生証に申し込み、学生割引を使えるようにすると便利です。格安のモバイル通信プランは個人番号がないため加入できませんが、Wi-Fiは少なく大学以外でも街中でeduroamが繋がることもあります。

自由記述欄

- 留学で感じたこと等、自由に記載してください。
(当初の留学計画を達成できたか、新たな発見があったか、どのような苦労があったか、留学前に準備しておけばよかったと振り返って感じることはあるか、後輩へのアドバイス、等なんでも結構です。)

母国語がスウェーデン語で、ストックホルム中央駅付近でしかアナウンスや標識には英語が見られませんが、街中で誰に話しかけても大抵は流暢な英語が返ってくるため、言語的には生活しやすいと思います。ただし英語開講の講義をとることもあり、近い学生はスウェーデン人より留学生が多く、現地学生と友達になることは少し難しいかもしれません。積極的に話すことで徐々に英語で生活できるようになりましたが、最初は自分の口から全然英語が出てこず、相手に対する申し訳なさもあり大変でした。CEFRのB2に達していなくても受け入れてくれますが、かなり周りの英語力に圧倒されると思います。

外食や海外食品などは贅沢品にカウントされるため値段は高いですが、国内で生産できるパスタやジャガイモ、パンなどをはじめ、自炊をすれば税率や物価の高さで困ることは特にありませんでした。

スウェーデンでは必要ありませんでしたが、他のヨーロッパ諸国では、日本の接種証明書以外にEUのCOVID-19パスポートが、入店など何をするにも必要な場所もありました。そのため、コロナ禍のヨーロッパでは、現地の個人番号や健康保険証を持たない日本人は、制度的には暮らしにくいと思います。文化的には、身近で日本食を手に入れることも難しくなく、ホームシックにはなりにくいと思います。

コロナ禍で留学させていただいたため、当初の留学計画を達成できたかと問われると微妙なところですが、非常に充実した留學生活だったと思います。コロナ禍の影響でオンラインが活発になったことで、部屋に引きこもって英語を減多に使わなくても、フィーリングや身振り手振りだけで半年間耐えることもできたとは思いますが、充分には楽しめかけたと思います。私は元々アウトドア派というわけではありませんが、積極的に飛び出すことで専門以外にも沢山の学びがありました。一人暮らしも初めての経験で、英語に自信もなく、不安でいっぱいでしたが、頑張れば何とか耐えました。ただし、遊ぶ暇なく勉強しても、ついていくのが精一杯なので、スウェーデンやヨーロッパで遊べると考えて留学する場所ではありません。最後になりましたが、スウェーデンにおいても日本においても、暖かい方々や支援に囲まれたおかげで、コロナ禍においても留学を無事に終えることができました。本当にありがとうございました。

留学手続き時に苦労した点

- 協定校への出願時に苦労した点や、後輩へのアドバイスがあれば記載ください。(提出すべき書類、準備が大変だった書類など)
居住許可の申し込みフォームを書き始めないと、必要な書類の詳細がわからず、一定日数経つと入力内容が消されてしまうため、短期間で書類を揃えるのが大変でした。留学中の海外旅行保険は芝浦から指定された会社・プランに加入しましたが、スウェーデン現地窓口は固定電話以外不可で、実際には使えませんでした。コレクトコールの窓口も閉鎖されてしまったため、留学中はSkypeを利用したアメリカ経由かLINE Out Freeで日本の手続きをしましたが、保険など深く検討をするべきかと思います。
- ビザ申請など、渡航準備時に苦労した点や後輩へのアドバイスがあれば記載ください。(提出すべき書類、準備が大変だった書類など)
(渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。)
コロナ禍の影響で予定通りに渡航できず、夏季休暇中のスウェーデン語集中講義がオンラインで開講されていたため、日本からの受講を目指しましたが不可能でした。現地で対面による本人確認が必要な学籍登録をしないと、Scombのように使われているCanvasのアカウントも発行できず、授業に関する情報や資料を受け取れないためです。
スウェーデンはEUですが、通貨が独自のスウェーデン・クローナ(SEK/kr)であるため、日本で用意するには時間や手間がかかります。現地の人が現金を使っているのを半年見たことがないくらいのため、保険的意味以外では用意しなくても良いかもしれません。(お祭りの屋台や蚤の市で旅行者が使う程度)
- その他、準備にあたり、後輩にアドバイスがあれば自由に記載してください。
クレジットカードもしくはデビットカードがないと日常生活が送れないほど、キャッシュレス決済が普及していますが、日本発行のカードではオンライン決済で頂くことも多いため、複数枚持っていくことをお勧めします。半年の滞在ではスウェーデンの個人番号が発行されないため、様々なサービスの会員登録や、オンラインショッピングで不便なこともあります。私は現地で銀行口座やカードは作りませんでした。

滞在先の宿泊施設などの情報 (渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。)

- 宿泊先のタイプを教えてください。(協定校の寮、一般のアパート、ホームステイ等)
協定校の寮(→協定校の寮斡旋部門が手配したホテル)
当初の寮はアパートメントタイプでシャワー、トイレ、キッチンが個人部屋内にありました。
洗濯機と乾燥機は共用で、予約制の部屋と空いている時に自由に使える部屋がありました。
- 上記宿泊先はどうやって手配しましたか？(出願時に協定校に依頼することができた、協定校から紹介してもらった、自分で探した、等)
出願時に協定校に依頼することができました。(メールが迷惑メールに振り分けられやすいので要注意)
ヨーロッパ出身の学生を中心に、自分で探さないといけない学生も多く、運良く部屋を斡旋されても場所や家賃、ルームタイプを選ぶことはできず、気に入らなくても再び紹介してもらうことはできません。
今回、途中で住んでいた寮を退去しなくてはならないというイレギュラーなトラブルが発生したため、2回ほど引っ越しをしましたが、以下では主に当初の寮について紹介します。
- 現地空港到着後、どうやって上記宿泊先に向かいましたか？
交通手段や所要時間を教えてください。
協定校の無料シャトルバス(Arrival Day限定だが利用者に対して本数が少ないため数時間待つ)→大学で入学手続きや寮の鍵の受け取り→地下鉄で寮へ
16時ごろアランダ空港に着陸したが、寮にたどり着いたのは23時近かった。
- 上記宿泊先から日々協定校へはどうやって通学していましたか？交通手段や所要時間を教えてください。
地下鉄+バス(当初の寮)→路面電車+鉄道(ホテル1)→地下鉄+鉄道(ホテル2)
すべてSLという会社が運営している範囲なので時間制のチケットまたは定期券のみで通学できました。どの経路も片道1時間弱程です。
- 上記宿泊先の様子を教えてください。広さ、住み心地等。
広さ、天井の高さともに、1人暮らしと家賃にしては十分すぎるくらいでした。前の居住者が残していったものによって設備に差があり、私の部屋には電子レンジはなかったものの、備え付けのオープンで冷凍食品やテイクアウトしたものを温められました。電熱線コンロが2口あり、水道水はそのまま飲むことができます。シャワーで温水が出るのは1回約15分で、固定電話がないところは少々不便でした。

留学中の費用や奨学金等（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）

概算で結構ですので、参考までに記入してください。

初期費用

内訳	金額(円換算概算)	概要
協定校へ支払った費用 (授業料、初期登録費用等あれば)	¥0	芝浦の授業料を納めれば、留学先で納める必要はありません。
往復航空券代(往復)	¥176,140	コロナ禍のサポートを期待して日本の大手航空会社にしましたが、LCCや海外の航空会社だと安くなるかもしれません。(税込)
海外旅行保険・危機管理費用 (全期間分)	¥73,060	芝浦で加入必須だった保険ですが、1ヶ月単位でしか申し込めず、マイナー国では金額に見合ったサービスは期待できません。
その他費用(ビザ申請、パスポート取得費等、英語試験受験料等)	¥0	日本人はビザ免除で、居住許可も無料で申請できました。英語の公開試験などを新たに受けなおす必要もありませんでした。
計	¥249,200	

1ヶ月あたり費用

内訳	月額金額	概要
宿泊費/月	¥60,000	途中で寮が変わったり、トラブルにより返金があったりしたため、契約時に示された金額のたまかな換算です。(4,900SEK/月)
食費/月	¥30,000	自炊はしていたものの、お弁当を作って持っていくことはなく、昼ごはんはファストフードやコンビニで済ませることが多かったです。
その他/月	¥15,000	学割を適用した交通費(1,880SEK/3ヶ月)+娯楽など月によって差が大きいので多めに見積もって。
計	¥105,000	

奨学金情報

奨学金名	月額金額	概要
芝浦工業大学海外留学奨学金	¥80,000	
計	¥80,000	

写真共有のお願い（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）

留学中の様子が分かる写真を4枚ほど共有ください。またそれぞれの写真に説明分を加えて下さい。
写真はそのまま掲載しますので、掲載してもよい写真を貼り付けてください。

大学のシンボルとなる建物の写真等をお願いします



説明文

私が主に通った郊外のFlemingsbergキャンパスです。
メインキャンパスではありませんが、
生命系の研究室が集まっており、
有名な他大学や研究所に近いです。

宿泊先の様子が分かる写真等をお願いします



説明文

徒歩で自然保護区に行けるほど自然豊かな場所にあった
当初の寮の部屋を廊下の玄関側から。
キッチン付きワンルーム+シャワー・トイレ・手洗い部屋がありまし
た。

その他、任意の写真



説明文

ストックホルムは水に囲まれた都市で、
定期券で乗れる公共交通機関にはフェリーも含まれます。
ゾーン制ではなく、SLが運営する全範囲すべて同料金です。

その他、任意の写真



説明文

北欧はアメリカやカナダより比較的快適に
オーロラを見ることができますが、ストックホルムでは非常に稀で、
北極圏(オーロラベルト以北)に行くと見やすいです。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

芝浦工業大学 交換留学プログラム 参加後アンケート

海外派遣プログラムに参加したみなさまに、海外での経験を今後の学生に共有していただくため下記アンケートの記載をお願いしています。
記載いただいた内容は、芝浦工業大学のWebサイトやパンフレットに掲載いただくことがありますので、その前提でご記入をお願いします。
「留学するかどうか、もしくは留学先をどこにするか等、判断を迷っている後輩向け」という視点で記入をお願いいたします。

留学者情報	
・ 学籍番号	BP●●●●●●
・ 氏名	A.M.
・ 学部	システム理工学部
・ 学科(コース等)	電子情報システム学科
・ 学年(渡航開始時)	3年
・ ウェブ等への体験談掲載への同意	<input type="checkbox"/> 氏名も掲載してよい <input checked="" type="checkbox"/> 学部・学科まで掲載してよい <input type="checkbox"/> 完全匿名での掲載を希望

留学先情報	
・ 渡航型/オンライン型	<input checked="" type="checkbox"/> 渡航型 <input type="checkbox"/> オンライン型
・ プログラムタイプ	<input checked="" type="checkbox"/> 授業履修型 <input type="checkbox"/> 研究室配属型
・ 国・地域名	欧州・スウェーデン
・ 都市名	ストックホルム
・ 留学先大学名	スウェーデン王立工科大学(KTH)
・ 留学期間	<input type="checkbox"/> 3ヶ月未満 <input checked="" type="checkbox"/> 3ヶ月～半年(1セメスター程度) <input type="checkbox"/> 半年～1年(2セメスター程度)
・ プログラム期間	プログラム開始時期 (2021年9月上旬等) 2021年8月下旬 プログラム終了時期 (2021年9月上旬等) 2022年1月上旬
・ 留学時期 (主に留学をしていた時期にチェック をお願いします)	<input type="checkbox"/> 1年前期 <input type="checkbox"/> 修士1年前期 <input type="checkbox"/> 1年後期 <input type="checkbox"/> 修士1年後期 <input type="checkbox"/> 2年前期 <input type="checkbox"/> 修士2年前期 <input type="checkbox"/> 2年後期 <input type="checkbox"/> 修士2年後期 <input type="checkbox"/> 3年前期 <input type="checkbox"/> 博士以上 <input checked="" type="checkbox"/> 3年後期 <input type="checkbox"/> 4年前期 <input type="checkbox"/> 4年後期
・ 上記協定校を志願した理由を教えてください。	KTHがコンピュータサイエンスで有名な学校であったことと 折角留学に行くのならば、レベルのより高い大学に挑戦してみたいと思ったからです。 あとは、スウェーデンはIT先進国、SDGs先進国と認識しており、 その生活を実際に体験してみたかったというのと、 スウェーデンは非常に英語力の高い国だと知って、 より英語のある環境に身を置くことができるのではないかと考えたからです。
・ (研究室配属型のみご回答ください) 受入大学の指導教員をどのように探 したか教えてください。 (SIT指導教員の紹介等)	

留学中の学籍について	
・ 休学の有無	<input type="checkbox"/> 休学をした <input checked="" type="checkbox"/> 休学しなかった
・ 休学せずに渡航した方は、休学せずに渡航できた理由を記載ください。 (留学が必須の学科だった、必修科目が渡航時期になく単位も十分に取得済みで、かつ指導教員の許可も得られ、就活前に帰国することができたため、等)	国際プログラム所属のためセメスター期間中の留学が必須であったから。

留学先での学習・研究状況

- 留学先での学習・研究状況につき、概要を記載してください。

履修している科目は3科目と決まらずに多くなかったのですが、大学院の講義なので、自分にとってはレベルが高く、課題もあり、非常に忙しかったです。日本の授業以上に、内容をしっかり理解した上で、自分の考えや意見を相手に伝える、という点が重視されているように感じました。あとは、ペアワークやグループワークが多いという印象も受けました。又、前半のEthical HackingとMachine Learningは、殆どオンライン開講だったので、モチベーションを保つことも自分の中では苦労しました。皆さんが想像している通り、もしくはそれ以上に、他国の学生は積極的に勉強に取り組んでいました。授業の途中でも、気になることがあれば質問するし、本当に意欲的だと思いました。そして、先生やTAさんも質問すれば、快く答えてくれます。質問できる機会も多かったように感じます。ですが、意外と履修辞退する人も多く、実際、自分もMachine LearningのLabのペアが途中でいなくなってしまうことがあり、少し大変でした。全体的には、とても勉強しやすい環境だったので、とても良かったと思います。

- 授業を履修した場合、具体的な科目の情報教えてください。(たくさん履修した場合は適宜追加して記載してください。また科目概要など、欄に収まらない場合は、適宜行の幅を大きくして記載してください。)

科目名①	Ethical Hacking (EN2720)	単位数 (現地単位数)	7.5
科目概要	<p>コロナの影響で主にオンライン開講。主に事前に提示されたサイト等を参考にしながら、様々なテーマに沿った課題に個人で取り組むスタイルでした。コマンドライン操作やハッキング用のソフトウェアツールを利用したハッキング演習で、内容は、SSHやGoogleクラウドなど幅広いものでした。2週間に1回、サイバーセキュリティに関するゲストレクチャーが実施されました。(出席も成績に加味)全ての課題が終了した段階で、履修者の3~5割ぐらいが口頭試問の対象者に選ばれて、実際にTAさんや教授の前でハッキングを行う。(自分は対象者ではなかったため、詳細は不明。そこまで難しくはないとのこと。)最終課題等は特にありませんでした。</p>		
科目名②	Machine Learning (DD2421)	単位数 (現地単位数)	7.5
科目概要	<p>コロナの影響で主にオンライン開講。機械学習に関する知識を幅広く学びます。授業は、講義14回とLab(演習)3回で構成されていました。講義は、芝浦の講義と同様に、先生の話聞くスタイルでした。Labは予め課題を解いて、それを10分程度でプレゼンテーションする、というものでした。プログラムを直接提出することは無かったが、TAさんに質問されるので、内容をしっかり理解しておく必要があります。最終課題としては、オンラインテストとプログラミングチャレンジ(データ前処理、学習アルゴリズムの選択実装)の2つが課せられました。テストに関しては、過去問が提供されるので対策は十分可能です。プログラミングに関しては、Pythonを利用するため、履修したい方は予め基本的な項目だけ抑えておくと比較的取り組みやすいと思います。私はPython未経験で多少苦労はしましたが、調べながら自力で解けるくらいのレベルではあると思います。</p>		
科目名③	Sustainability and Media Technology (DM2573)	単位数 (現地単位数)	7.5
科目概要	<p>コロナによる規制が緩和され、全面对面開講。唯一、学部生が多く、留学生が少ない授業でした。サステナビリティに関する基礎知識やサステナビリティとICT・メディアテクノロジーの関連性に関して広く学びました。授業のスタイルは、1週間に2回の講義(ゲストレクチャー)、1回のセミナー、1回のレポートのドラフト提出、1回のレポート提出(600~1000字程度)というものでした。レポートは全部で5テーマについて書きました。又、講義の前に事前資料としてサステナビリティに関する論文等が配布されるので、それを読んでおく必要がありました。これを読んでと、セミナーにもついていけないし、レポートも書けないので、かなりのページ数であるが根気よく取り組むしかありません。英語力の向上も見込める良い授業だったと思います。最終課題等は特にありません。</p>		
科目名④		単位数 (現地単位数)	
科目概要			
科目名⑤		単位数 (現地単位数)	
科目概要			
科目名⑥		単位数 (現地単位数)	
科目概要			

留学先での学習・研究以外の交流活動

- 交友関係、部活、サークル、日常生活などで特筆して後輩に伝えたいことを記載してください。

学習・研究以外では、半年だったので部活やサークルには参加しませんでした。ですが、KTHの日本語授業のボランティアや日本語のLanguage Cafe(日本語を勉強しているKTHの学生との週1回の交流会)に参加していました。そこで知り合った方とご飯を食べに行ったり、ホームパーティーに参加したりしました。最初の頃にはTHSという学生委員会の歓迎イベントも多く用意されていたそうなのですが、私は気付くのが遅くて予約が間に合わなかったです。スウェーデン観光等が出来るようなので、興味がある方は、THSからのメールを確認することを怠らないようにしてください。又、Facebookに留学生イベントの案内がたくさんあるので、パーティー等に参加したい人はFacebookを使って情報収集するのも良いと思います。(私はコロナ感染が怖くて殆ど参加できませんでした。)後は、講義が全て終了してから、フィンランド、エストニア、デンマークへ、KTHで出会った留学生と旅行に行きました。日本から行くよりも格段に安く、手軽に旅行出来るので、非常に良かったです。

自由記述欄

- 留学で感じたこと等、自由に記載してください。
(当初の留学計画を達成していたか、新たな発見があったか、どのような苦勞があったか、留学前に準備しておけばよかったと振り返って感じることはあるか、後輩へのアドバイス、等なんでも結構です。)

まず感じたのは、多くの学生が、自分のために、年齢に関係なく目的や目標を持って大学で勉強しているということです。KTHには、多様な国からの留学生、自分の親と同じ世代の人や、一度就職してから大学に戻ってきた人、仕事しながら大学に通う人等、色々なバックグラウンドを持つ学生が沢山いました。日本だとあまりないことなので、とても驚きました。学びに年齢は関係ないのだと実感させられたのと同時に、自分も、学ぶことに対して、もっと貪欲に、積極的になろうと思いました。英語力に関しては、自分の力不足を改めて知る良い機会になりました。元々、自分の英語力には自信はありませんでしたが、想像していた以上に通用しない部分があって、もどかしい思いを沢山しました。他のヨーロッパ圏や中国からの留学生やKTHの学生は、ディスカッション等で流暢に英語で話している中で、自分だけがついていけない時もしばしばあり、正直きつと思うこともありました。それでもめげずに食らいついて何とかやりきったことは、自分の自信になりました。それでも、英語力はまだ足下にも及ばないと思うので、今後更に精進していきます。英語でコミュニケーションが取れるようになれば、自分の世界は本当に広がるということを身をもって感じる事が出来、それは今後の英語学習のモチベーションにも繋がってくると思います。このように英語力の無い私でも乗り切れたので、頑張れば出来ないこともないですが、これから留学を考えている方は、より充実した留学生活のためにも、しっかりと英語を勉強しておくことをおすすめします。又、個人的に非常に感じたのが、物事に対する考えの深さの違いです。Sustainability and Media Technologyでは、正解のないテーマでディスカッションが行われていたのですが、他の学生が、明らか自分の意見よりも多面的で深い考えを持っているという印象を受けました。全体を通じて、決して楽な留学だったとは思わないし、明確に学力や英語力が伸びたかは、正直分かりません。ですが、自分の世界観・価値観を広げてくれた、本当に貴重な半年であったことには間違いありません。私は、これまで日本で何となく安定した生活が出来たら良いな程度にしか考えていませんでした。ですが、この留学で他の国からの留学生やKTHの学生との交流、スウェーデンでの生活を通じて、自分の浅さ、世界の広さというのを直に感じました。そして、今の状況では難しいけれども、今後自分の目でもっと多くを見て、経験して、感じたいという心境の変化が生まれました。少しでも自分を変えたいと思う人は、是非KTHの留学にチャレンジしてみたいと思います。そこでの経験全てが、自分にとってかけがえのない財産になると 생각합니다。

留学手続き時に苦勞した点

- 協定校への出願時に苦勞した点や、後輩へのアドバイスがあれば記載ください。(提出すべき書類、準備が大変だった書類など)
- ビザ申請など、渡航準備時に苦勞した点や後輩へのアドバイスがあれば記載ください。(提出すべき書類、準備が大変だった書類など)
(渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。)

コンピュータサイエンスは特に授業の選択肢が多く、その反面、履修登録に時間がかかりました。又、KTHの時間割は日本の大学とは違って、非常に変則的です。出願時に、KTHに履修希望科目を提出するのですが、その段階では時間割が確認できないので、かなり時間割が重複することが考えられます。後で調整できるように、あらかじめ複数候補を考えておくことをお勧めします。勿論、芝浦工業大学と同様で、講義開始1週間程度は履修追加が出来るので、そこまで神経質にならなくても大丈夫です。

ビザ申請は必要なかったのですが、居住許可の申請が下りるまでに非常に時間がかかり、実際に許可が下りたのが出発1~2週間前でした。なので直前に焦らないために、出来るだけ早めに申請することをお勧めします。申請自体はオンラインなので、そこまで手間はかかりません。しかし、申請時に口座残高(金額指定あり)や保険証書等(英語表記)を提出する必要があるため、必要書類も早めに収集する方が良いと思います。

滞在先の宿泊施設などの情報 (渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。)

- 宿泊先のタイプを教えてください。
(協定校の寮、一般のアパート、ホームステイ等)
- 上記宿泊先はどうやって手配しましたか?(出願時に協定校に依頼することができた、協定校から紹介してもらった、自分で探した、等)
- 現地空港到着後、どうやって上記宿泊先に向かいましたか? 交通手段や所要時間を教えてください。
- 上記宿泊先から日々協定校へはどうやって通学していましたか? 交通手段や所要時間を教えてください。
- 上記宿泊先の様子を教えてください。
広さ、住み心地等。

協定校の寮

協定校からの紹介

空港から大学までは大学側が手配したバス、大学から寮までは地下鉄

地下鉄で約50分程度

1人部屋。キッチン、ユニットバス付。共用ランドリー、ゴミ捨て場が4つありました。部屋によって広さは少々異なりましたが、一人で生活するには十分な広さでした。若干壁が薄くて、隣や外で騒いでいると聞こえてくることはありました。スーパーは徒歩圏内。少し行けばIKEAや大きめの商業施設もあり買い物もしやすかったです。(しかし寮の欠陥が発覚し、途中からはホテル滞在)

留学中の費用や奨学金等（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）

概算で結構ですので、参考までに記入してください。

初期費用

内訳	金額(円換算概算)	概要
協定校へ支払った費用 (授業料、初期登録費用等あれば)	¥0	交換留学のため
往復航空券代(往復)	¥196,190	JAL利用、帰国便予約変更のため+¥30,000
海外旅行保険・危機管理費用 (全期間分)	¥73,060	大学指定の海外旅行保険
その他費用(ビザ申請、パスポート取得費等、英語試験受験料等)	¥0	居住許可申請のみ、英語資格の規定は無し
計	¥269,250	

1ヶ月あたり費用

内訳	月額金額	概要
宿泊費/月	¥60,000	途中で移動等があったので、詳細は不明
食費/月	¥15,000	外食は高い(安くて1000円~)ので基本自炊
その他/月	¥10,000	
計	¥85,000	

奨学金情報

奨学金名	月額金額	概要
芝浦工業大学海外留学奨学金	¥80,000	
計	¥80,000	

写真共有のお願い（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）

留学中の様子が分かる写真を4枚ほど共有ください。またそれぞれの写真に説明分を加えて下さい。
写真はそのまま掲載しますので、掲載してもよい写真を貼り付けてください。

大学のシンボルとなる建物の写真等をお願いします



説明文

KTH正面の写真。敷地が非常に大きかったです。

宿泊先の様子が分かる写真等をお願いします



説明文

大学までは約50分程度の距離。

その他、任意の写真



説明文

スウェーデン料理の一つであるミートボール。
スウェーデンのレストランの店員さんはとても気さくでした。

その他、任意の写真



説明文

ストックホルムの街並み

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。